

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ソフト面での白馬バレー観光回遊創出事業
事業主体 (連絡先)	THEDAY.HAKUBA VALLEY 長野県北安曇郡小谷村 4742-1
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,763,251 円 (うち支援金 : 616,000 円)

事業内容

「白馬バレーの観光の入口を地域の「ヒト」で作る」を目的に、「一期一会を何度でも」のコンセプトをもつ【村ガチャ】。「白馬バレーの"今"がわかる！」情報メディアの【THEDAY.HAKUBA オープンチャット】を運営。

【村ガチャ】

カプセルトイを回すことで、地域の人と出会えて特典が GET できる。2024 年 3 月時点で 72 村民 105 特典が格納。月 170 回以上の交流が生まれる月もある。

【THEDAY.HAKUBA オープンチャット】

申請があった方は誰でも参加可能とし、LINE オープンチャット上にて展開。観光客・地域住民が交流できる場となり、観光の入口、そして再訪するきっかけを「人」で構築していく。

事業効果

- ① 村ガチャを回すために白馬を訪れる方が生まれる。また村ガチャやオープンチャットを起点に繋がり、個々での交流も生まれている。最近では、共同代表の佐藤に会うことも目的に白馬を訪れる例もある。
- ② 村ガチャで村民と観光客の交流が生まれ、白馬を訪れたら行くお店となっている例もある。特典チケットの利用率は、多い時では 50% を超え 170 回以上の交流を生み出している月もある。
- ③ 毎月コンスタンスに新村民が入っており、村ガチャに関わる方を対象にした感謝祭を開いた際には、70 名近くの方がご参加。オープンチャットでは白馬駅駅長やスキー場関係者、宿の方なども積極的に情報発信している。

今後の取り組み

「白馬バレーの観光の入口を地域の「ヒト」で作る」状態をより一層加速させていくために、オープンチャットは 3 月 31 日でクローズする一方、村ガチャに集中し、【課題①：認知～体験までの離脱】【課題②：体験者の拡充】にフォーカスして来年度取り組む。具体的には課題①に対する解決事業を「お土産村ガチャ」。課題②に対する解決事業を「村ガチャクエスト」と定めて実行する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【モンスタークリフに設置の村ガチャ】

【目標・ねらい】

- ① ヒトが観光目的となること
- ② ヒトの交流を生み出すこと
- ③ 地域協働の動きをつくること

※自己評価【A】

【理由】

- ・村ガチャの村民数・特典数が当初の目標を大幅に上回っている
- ・オープンチャットは旅行部門で全国1位
- ・県外でも話題に上がる
(村ガチャ導入を希望する自治体・企業)